

◆「地区内関係者ヒアリング」の概要

1. ヒアリング目的と対象者

■目的

目黒駅周辺地区の事業者等、地域活動団体、学生を対象に、地区に対する評価や課題、まちづくりに関する活動状況や意向等の把握を行う。

■対象者

		ヒアリング対象者	実施日
事業者等		○当地区に立地する企業や神社仏閣	R4年9月12日 ～ 10月20日
		計5事業者	
地域活動団体		○目黒イーストエリア商店街連合会	R4年10月22日
学 生	小学生	○区民センター児童館学童保育クラブ利用者 : 6名	R4年10月5日
	中・高生	○目黒日本大学中学校・高等学校 : 10名	R4年10月6日
	大学生	○杉野服飾大学 : 53名 ※アンケート形式により実施	R4年9月1日 ～ 9月15日

○小学生ヒアリングの様子（区民センター児童館学童保育クラブ）



○中・高生ヒアリングの様子（目黒日本大学中学校・高等学校）



2. ヒアリング結果

ヒアリング項目	事業者等	地域活動団体	学 生
①地区の特徴 事業者：本地区を選んだ理由 学 生：特徴的な施設やイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・駅に近く、交通の便がよい（新幹線（品川駅）も利用しやすい） ・周辺にスタートアップ企業が多い ・クリエイターが多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・駅近で、交通の便がよい 	【施 設】 目黒美術館、雅叙園（百段階段）目黒寄生虫館、国立博物館付属自然教育園・東京都庭園美術館、不動公園、中目黒公園、林試の森公園 【イベント】 大鳥神社などのお祭り、さくら祭り、ミュージックフェスタ
②地区の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・東京駅周辺と比べ賃料が安い（その分を顧客に還元できる） ・食事（ランチ）がしやすい ・顧客、協力者となる個人事業主や外国人が生活しやすい環境がある（落ち着いている） 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道の利用、複数駅が使えて便利 ・目黒川の桜などの緑が多い ・区立美術館、都立庭園美術館などの文化資源がある ・自転車の練習が出来る大きな公園や、友達が多くなる身近な公園がある ・人は多いが、空気はきれいに感じる ・神社・仏閣のお祭りや縁日、目黒のさんま祭などのイベントが多い ・商店街が明るい ・アーケードが便利 ・友達と立ち寄れる、親しみのある店舗、飲食店が多い ・駅前に大型の店舗が立地して便利 ・山手通りは、自転車レーンがあるため、自転車で走りやすい ・安心感を感じる
③地区の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・目黒川が非常に臭い ・権之助坂の歩道が狭く、歩きにくい、かつ危険と感じる（歩行者と自転車の混在） ・狭い道路がある ・南側の目黒通りにあった横断歩道がなくなり、周辺への移動がし難くなった ・坂が多く、雪の日などに危険を感じる ・駐車場の確保が難しい。 ・駅周辺の駐輪場の収容台数が少ない ・シェアサイクルのポートが、駅近にない ・子育て中の人、新しい居住者等が安心できる空間、場所がない ・子育て支援、創業支援が不十分である 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い歩道をスピードを出して下ってくる自転車や、電動自転車がいる ・駐輪場が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・狭い道路が多い ・坂が急で、つらい ・権之助坂の歩道が狭く、歩きづらい、自転車と歩行者で混雑する ・駅から三角地、三角地から学校側に渡る信号の待ち時間が長い ・交通量が多い生活道路が多く、怖い ・まちなかに休憩できるスペースが少ない ・自転車の走行マナーが悪い ・信号無視、横断箇所以外の横断、斜横断をする大人が多い ・日常生活に必要な学生が集まって食事をしたり、部活のミーティングなど出来る店舗が少ない ・文化祭の買い出しに使うショップが少ない ・スーパーが少ない ・生ごみにカラスが集まっている時があり怖い（権之助坂） ・商店街の裏側に面しており、授業中に飲食店の臭いや、たばこの臭いが入ってくる、暗く、景観的によくない ・多くのイベントが実施されているが、情報が探しにくい

ヒアリング項目	事業者等	地域活動団体	学 生
<p>④実施している まちづくり活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・独自に周辺の清掃活動を行っていた（30ヶ月前） ・各営業所では、その場所に合わせた地域との関係づくりを積極的に行っている ・地元自治会及びイベントに参加し、景品等を提供している ・社食で地元飲食店のメニューを提供する時がある ・地元公共機関が主催するイベント等に対し、求めに応じて人的及び資材的協力をしている。 ・他の地元協力者とともに地域イベントを開催している ・フードバンク目黒への食糧の提供及び、この場所で食糧を配布している ・東日本大震災の時は、自主的に帰宅困難者の受け入れた ・目黒観光まちづくり協会や鉄道事業者が実施する地域イベントに協力している ・今後、個別に店舗とのネットワークづくり、アートを通じた地域との繋がりを検討している 	<ul style="list-style-type: none"> ・さくら祭りを主催 ※これまで、16回開催（最初は大鳥神社で開催。） ・目黒駅前盆踊り大会への協力 ・目黒ミュージックフェスタを共催 ・区民まつりへの協力 ・目黒クリーン（清掃活動 通年）を主催 ※若手の参加を促すしくみとして、5年前から目黒イーストエリア商店街連合会公認ボランティアチーム「目黒サポーター」を組織し、活動している（大学生等） ・明確な役割分担はなく、メンバーの得意分野に応じて、自主的に担当を担っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りに、部活動の取組みやボランティアで参加した ・文化部の発表の機会を得るために、学校として区内のイベントに積極的に参加するようにしている ・中学部の生徒会と児童が一緒になって、区民センター児童館の花壇の植え替えを行った（今後も、継続していく） ・目黒川と、国立博物館付属自然教育園内の池の水質・植物調査を、中学2年時の授業として実施している
<p>⑤まちづくり活動の 課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外のイベントや活動スペースが少ない ・区施設のルールが地域活動を難しくしている（区施設にチラシが置けない） ・地域の既存組織に入りづらい ・在宅勤務が増えると、地域との関係づくりが、難しくなる ・社内からの参加者が集まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度をまたぐイベントに対する区の補助金が一括にならない ・周辺への騒音に配慮している（ステージの向きを変える、事前に協力をお願いをポスティングするなど） 	<p style="text-align: center;">-</p>

ヒアリング項目	事業者等	地域活動団体	学 生
⑥ 今後のまちづくり活動で必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> ・民間も公共空間を使えるようにする（区民センター、児童館、公園等） ・地元がやりたいことを把握し、そこに支援、サポートする体制をつくる ・若手や企業がまちづくりに参加する ・地域と企業を結ぶ情報を提供できるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・協力者のネットワークを広げていく（新たな協力者や地域活動に参加意向がある組織と橋渡しをする仕組み） ・メンバー同士の普段からのコミュニケーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・人が密集していない（人の目を気にしないですむ）、ゆとり出来る場所を作る ・おしゃべり読書などが出来る芝生ペースがあると良い ・区民センターのプールや図書館をもっと周知すれば、多くの人が集まる ・駅前で、あいさつ運動をすれば、より安心感が増す ・バザーを行なえば、多くの人が集まる ・遊びに行けるスポットが増えれば良い ・まちの美化、防犯活動に取り組む
⑦ 今後のまちづくりに対する意向・期待	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車をもっと利用しやすい環境になる ・交流の場所として、公園でコーヒーの販売やキッチンカーを使った販売が出来るようにする ・まちの賑わい、イメージづくりの面で、商店街1階部分の使い方がコントロールがされる ・買い周りの楽しさが生まれる、回遊性が高まるまちづくり ・地域の歴史・観光資源をもっと認識されるようになる ・イベントも含めたアミューズメント性が強化される ・駅前の顔づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所が増える（目黒川の上部やマンションの公開空地など） ・楽しめる場所が出来る（水族館、カフェのある図書館、ペットも入れる公園など） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の改善（拡幅、隅切り整備等）に取り組む ・商店街の魅力向上、娯楽サービス施設などの充実に取り組む ・今のままのあんしん・ほっこりするまち（都会的なものとそうじゃないものが共存し、人との距離感が近いのがこのまちの良さ） ・イベントが多い状態を維持する ・遊具が揃っている公園を増やす

3. ヒアリング結果のまとめ

①地区の特徴

- ・駅に近い、複数駅が使える、品川駅（新幹線の利用）にアクセスしやすいなど交通の便がよい。
- ・地区内及び周辺にスタートアップ企業やクリエイターが多い。
- ・歴史、文化、自然、観光資源が多い。 等

②地区の評価

- ・都心部と比較して、家賃、地価が安く、事業がしやすい。
- ・神社・仏閣のお祭りや縁日、目黒のさんま祭などのイベントや親しみのある店舗・飲食店が多く、活気や楽しみがある。
- ・落ち着いていて、安心感がある。 等

③地区の課題

- ・目黒川の臭い。
- ・歩行者・自転車の交通環境に課題が多い（権之助坂の歩行者と自転車の混在・ゴミの露出、生活道路への通過交通の流入、坂道の安全性、駐輪場不足）。
- ・余暇を楽しむための施設、スペースが不足している。 等

④実施しているまちづくり活動

- ・地元組織、事業者、学生が連携して活発に地域活動が行われており、参加意欲も高い。
- ・活動目的は、賑わいの創出、コミュニティづくり、福祉、地域イメージの発信など多岐にわたる。
- ・地域活動へのボランティアを募ると、地区に関係ない学生も多く集まる状況にある。 等

⑤まちづくり活動の課題

- ・イベント等の地域活動を行う場合、実施できるスペースが不足している。
- ・地域活動への参加意向がある組織を知る機会や、地元ニーズを把握する機会がない。
- ・公的支援制度等が利用しにくい（手続きの煩雑さ、公共施設の利用ルールの柔軟性）。 等

⑥今後のまちづくり活動で必要なこと

- ・多様な主体が公共空間を使えるようにする（区民センター、児童館、公園等）。
- ・新たな協力者と既存の活動組織を橋渡しする仕組みをつくって、協力者のネットワークを広げていく。
- ・若手や企業がまちづくりに参加する。 等

⑦今後のまちづくりに対する意向・期待

- ・駅前の顔づくりと合わせて、歴史・観光資源なども活用して、余暇時間を楽しく過ごせる機能を充実させる。
- ・自転車を利用しやすくするとともに、買い周りの楽しさが生まれ、回遊性が高まるまちづくり。
- ・既存公園を改善・充実させる（遊具の充実、飲食の提供等）。 等